

世界に翔け！
舞台美術の祭典

P プラハ
Prague

Q カドリエンナーレ
Quadrennial

学生・新人部門コンペ作品大募集！

舞台美術を志す皆様

エントリー受付を開始しました！

さあ、自分のデザインした劇空間を世界の人に提案してみませんか！！
既存の概念にとらわれない、新鮮で、自由な表現に出会えることを
私たちPQ実行委員会は楽しみにしています！

詳しくは『日本代表作品募集要項』に記載してあります。我こそはと
思う方はふるって応募してください！！

PQ2019学生・新人部門実行委員会 キュリエーター
二村周作

舞台美術や舞台衣裳を学んでいる学生、および卒業後5年以内のデザイナーの作品を募集いたします。
コンペの詳細は日本舞台美術家協会ホームページ、Facebookをご覧ください。
たくさんのご応募お待ちしております。

■ PQ2019 協会ブース・学生ブース 共通コンセプト

「SASAGERU – ささげる」

SASAGERU Something for something

「ナニカ」を「ナニカ」にささげる

「SASAGERU – ささげる」という日本語は多くの意味を持ちます。

世の中のすべての「ナニカ」に対し、ヒトが「ナニカ」を差し出す動作そのものや、ヒトがひたすらその「ナニカ」に尽くす姿勢や、ヒトが「ナニカ」に「ナニカ」を届けようとする行為を表す言葉でもあり、「ナニカ」と「ナニカ」の間にある境界を超えるという意味も持つ言葉であります。

この言葉を PQ2019 のテーマといたします。

PQ2019 の準備委員会が設立されてから、私たちは多くの時間を PQ に参加する意義と言葉さがしに費やし、そして舞台芸術やセノグラフィ・パフォーマンスデザインを構成するたくさんの言葉の中から、「SASAGERU – ささげる」という言葉と出会いました。

抗することが出来ない自然による災いや、生きるために必要な自然からの賜物に対して、ヒトは何が出来るのか。その答えのひとつが「SASAGERU – ささげる」という言葉に込められているのではないのでしょうか。

特に日本の芸能や芸術にこの言葉の持つ意味が大きく関わっていることに気づくと、『「ナニカ」に「ナニカ」を SASAGERU – ささげる』という言葉は、我々の持つ長い歴史の中での芸能や芸術という表現に表となり裏となり内包され、現在にその意味を伝えていることに我々は感動しました。

つまり、『「ナニカ」に「ナニカ」を SASAGERU – ささげる』という言葉は、日本の舞台芸術に携わる我々の姿勢の原点をしめす言葉のひとつであると言えるのではないのでしょうか。

PQ2019 の日本エリアでは、参加者すべてが個別にその「ナニカ」と「ナニカ」は「ナニカ？」を考え、「ナニカ」と「ナニカ」の間にある境界をなくすことではなく、境界があることを認めたくえて、境界を超える(Porous Borders)表現方法をもって、PQ の会場において「ナニカ」に「ナニカをささげる空間」を提示いたします。

日本代表展示作品募集要項

日本舞台美術家協会 PQ2019 学生・新人部門実行委員会では、プラハカドリエンナーレ PQ2019 の学生・新人部門に日本代表として展示される作品を募集いたします。

自分の作品を国際的な環境で展示して世界の仲間と交流しませんか？

一人でも多くの新鮮な才能に出会えることを私たち委員会も楽しみにしています。

PQ2019 学生・新人部門実行委員会 キュレーター
二村周作

■ プラハカドリエンナーレ(以下 PQ2019)とは

- チェコ共和国の首都プラハに 4 年に 1 度、世界 70 以上国以上の国々の演劇、ダンス、オペラ、パフォーマンスアートや新たに生まれた舞台芸術などのさまざまなジャンルのスタッフワーク(舞台美術・照明・音響や建築も含む)が一堂に集まり、舞台美術家 5,000 人以上、学生 1500 人以上が参加する国際的なイベントです。
- 会場内は、国・学生・その他共同体などの参加団体に各々の場所が与えられ、会期中、その場所から、模型展示や写真・映像作品・パフォーマンスなどの各団体の成果が発表されます。
- 日本の参加は 53 年前、PQ の前身である 1961 年の第 6 回サンパウロ・ビエンナーレから始まり、前回の 2015 年の開催まで 13 回連続して参加しています。

日本代表展示作品出展要項

1. 主催

- 日本舞台美術家協会 PQ2019 学生・新人部門実行委員会(以下委員会)

2. 会場と会期

- チェコ共和国 プラハ市 産業宮殿にて開催
 - 2019 年
 - 6 月 3 日 (月) ~6 月 5 日 (水) 展示準備作業
 - 6 月 6 日 (木) ~6 月 16 日 (日) 開催期間
 - 6 月 17 日 (月) 撤去作業
- ※いずれも現地時間

3. 出展資格

- ・ 大学・専門学校・その他教育機関などで現在舞台美術を学んでいる方で、かつ当委員会が定める以下の出展条件に同意される方。
 - ・ 上記の教育機関を卒業し、おおよそ 5 年以内の方で、かつ当委員会が定める以下の出展条件に同意される方。
 - ・ 劇団や演出部などに従事してからおおよそ 5 年以内の方で、かつ当委員会が定める以下の出展条件に同意される方。
- 委員会が定める出展条件
 - ・ 出展者は 2019 年 6 月 3 日 (月) の搬入時に現場に作品を持ち込むことを原則とする。
 - ・ 出展者は委員会と相談のうえ、展示作業と撤去作業のどちらかに参加出来ること。
 - ・ 出展者の渡航費や宿泊費が全額、出展者の自己負担になる可能性があることを理解し承諾していること
 - ・ 滞在期間に起こるすべての事象に対して自己責任で対策をしなければいけない可能性があることを理解し承諾していること
 - ・ あらかじめ作品を持ち帰る手段を用意している出展者以外の作品は、現地で廃棄される可能性があることを承諾していること
 - ・ その他、海外での発表であり調整必要な件が多くあります。今後作品内容に多少の変更が伴う可能性があることを理解し承諾していること。

- 確認事項や質問がある方は巻末の連絡先にメールしてください。

4. 出題テーマ

「SASAGERU」というテーマを舞台美術作品として自由に表現してください。

- ・ 「SASAGERU」というテーマは、日本舞台美術家協会が PQ2019 のために掲げるテーマでもあります。(詳しくは別紙を参照してください)
- ・ 「SASAGERU」という言葉からダイレクトに発想し、舞台美術作品として制作していただくことも可能であり、また、このテーマを表現するに適した戯曲や音楽などのメディアを選択してから、それらを舞台美術作品に昇華させることも可能です。

5. 舞台美術作品とは

- ・ 舞台美術作品とは以下 ABC の 4 種類の表現方法と定めますので、各自、下記より選択し、自由に表現してください。

A) 模型表現=w700×h 2000×d 800 の展示空間に収まる舞台模型による表現

- ・ 上記展示空間に収まれば、説明のためのパネルなどを同じ空間に展示することも可

B) 衣装表現=w700×h 2000×d 800 の展示スペースの収まる舞台衣装による展示

- ・ 上記展示空間に収まれば、説明のためのパネルなどを同じ空間に展示することも可
- ・ 衣装は実物サイズでもそれ以外であっても可

C) その他のスタイル(例えば映像やオブジェなどを主題にしたインスタレーションなど) =w700×h 2000×d 800 の展示スペースの収まる自由な表現作品による展示

- ・ 上記展示空間に収まれば、説明のためのパネルなどを同じ空間に展示することも可

- 故障などのアクシデントに対しての対策を講じておいてください。
- 文章での説明が不可欠である表現はなるべく避けてください。(要相談)
- 日本と電圧が違いますので、電気を使用する際は考慮が必要です。
- 照明機材に関しては、原則 PQ 本部の用意した簡単な照明設備での対応となりますので、特殊な装置が必要な場合は現地調達か日本から持ち込む必要があります。

D) アーティスト・イン・レジデンス方式

- ・ PQ 開催期間中、PQ 会場で「SASAGERU」をテーマに作品を現場で制作すること自体が作品となるような表現。

- ・ 各自設定の滞在期間内で、プラハでの滞在体験から得た「歴史」「風土」「日本との関係性」などを「SASAGERU」というテーマで包括した造形表現(身体表現は省く)を現地会場で制作する表現

5. スケジュール

① エントリー

- ・ 出展希望書類に記入していただき、文末のメールアドレス宛に送信してください。
- ・ エントリー提出期限 2018年11月30日(金) 23時59分(日本時間)
- ・ 受付受領の返信をもって申し込み完了とします。
- ・ 万が一、エントリーの返信が来ない場合は舞台美術家協会までご連絡下さい。
電話 03-6300-9104 (日本舞台美術家協会)
それ以外の連絡方法は基本メールのみとさせていただきます。
- ・ エントリーしてから作品提出を辞退する場合も必ず末尾に記載されているメール宛に必ずご連絡下さい。

② 作品選考

- ・ 最終的に展示される作品を提出していただくのではなく、各自が制作したい表現について、具体的に完成形を説明出来る様な資料を提出していただきます。
➤ 7「作品選考時に提出する資料の内容について」を参照
- ・ 作品選考のための資料提出期限 2018年12月27日(木) 23時59分(日本時間)
- ・ 選考委員による選考により、数点の作品を 2019年1月下旬(日本時間)までに選出いたします。
- ・ 選考結果は個別に委員会よりご連絡をさせていただきます。選出された方は、委員会との面談を経ながら、6月の出展に向けて、作品を制作していただきます。
- ・ 海外であり、条件も多いので、今後様々な変更が予想されます。その際にご協力くださいますようお願いいたします。

- ③ 選出された方は、委員会との面談を経ながら、6月の出展に向けて、作品を制作していただきます。

6. 選考委員

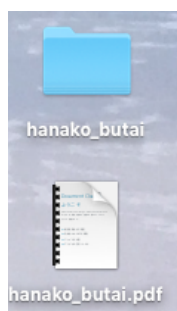
- ・ 日本舞台美術家協会が選出した選考委員(後日発表いたします)

7. 作品選考時に提出する資料の提出方法、期限と内容について

I. 提出方法

- ・ 作品はすべてPDFかjpegに変換しファイルにまとめてください。(最大30MB。)
- ・ まとめたファイルの容量が大きい場合は、大容量ファイル転送サービスなどを使用して、文末のアドレスに送信してください。

- ・ Power Point での提出も可能です。
- ・ 半角ローマ字でフルネームをファイル名にしてください。
(hanako_butai・BUTAI_TARO 等)
- ・ 数点のデータがある場合は一つのフォルダにまとめて下さい。(5 ページ目参照)



II. 提出期限

- ・ 2018年12月27日(木) 23時59分(日本時間)

※いかなる理由においても、エントリー提出期限を過ぎての作品提出は無効となります。

III. 求められる提出資料の内容

1. 「SASAGERU」から発想した過程の説明
 2. 作品のコンセプトの説明
 3. 作品の最終的な表現方法についての説明
 4. 寸法・素材・予算・サイズや仕掛けなどの説明
- ・ 以上の内容が、ビジュアルと文章で、論理的・具体的かつ的確に説明できる資料になるように揃えてください。
 - ・ 展示スペースの具体的な展示案がイメージできるような資料を揃えてください。
 - ・ 資料の種類や資料の数量制限はありません。
 - ・ 万が一の事故に備え、バックアップは必ず用意しておいてください。

各種お問い合わせ先、並びにエントリーのためのアドレス

pq2019-student@freeml.com

※エントリーシート及び作品募集要項は、日本舞台美術家協会のホームページからもダウンロードできます。(2018年11月20日(火)～予定)



日本舞台美術家協会ホームページ

<http://www.jatdt.net>

協会 HP・QR コード

